

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	虐待防止・予防や身体拘束廃止に向けた取り組み等に日々努めているが、それに対する学ぶ機会が少ない現状がある。	虐待防止や身体拘束廃止への意識の徹底を図る為に職員全体の共有認識を図り、ケア体制の充実化。	①理解・検討の場 H29年度第5回運営推進会議にて、「身体拘束廃止への取り組み・不適切ケア」について話し合う(1/10開催済み) 第6回の会議において、サービス外部評価結果報告と共に目標達成計画添った具体的な取り組み内容について話し合う。今後、状況・課題について話し合う。	12ヶ月
				②職員:教育/ケアの振り返り ・外部、苑内、併設施設との勉強会等に参加。職員会議の場にて報告。 ・自己点検シート活用し、虐待(不適切ケア)の防止・予防のための改善目標を立てて取り組む。	12ヶ月
				③職員:意識の徹底と共有・検討の場 ・職員会議にてホームでの現状踏まえながら不適切なケアになっていないか、拘束へと繋がっていないか等の事例検討を行う。(委員会) ・認知症ケア向上会議を有効活用する。	12ヶ月
				④家族・利用者の意見をケアに反映 ・ラポール委員会(1回/月)・利用者主体で取り組みたい事等を定める。 ・家族向け満足度アンケート(1回/年)実施継続し、いろいろなご意見頂き、ケアを振り返り・質を高める。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を年6回、市職員、民生委員、地域代表、同法人居宅CM、家族、利用者、職員の構成で開催し、毎回全員参加とはいかない時がある。もっと多くの地域の関係者が会議に参加して頂けるような働きかけの工夫が必要で課題である。	1人でも多くの地域の関係者の方が会議に参加して頂き、話し合いの中から得た意見をサービス向上に活かす。	・介護相談員受け入れ時に働きかける。 ・地域交流会や地域合同、又町内避難訓練等にて協力体制強化図りつつ働きかける。 ・「いきいきふれあいつどい」に職員参加継続。地域関係者との関係性を深め活動通じて働きかけていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。